

原油 サウジ原油生産が半減なら、大幅な供給不足により原油高の懸念

- 14日にサウジの石油施設が攻撃を受け、原油価格が急騰
- サウジ生産が半減すれば、需給は大幅な需要超過に
- サウジ減産分の補填は難しく、原油高の持続が懸念される

■ 攻撃受けサウジの生産減で原油価格が急騰

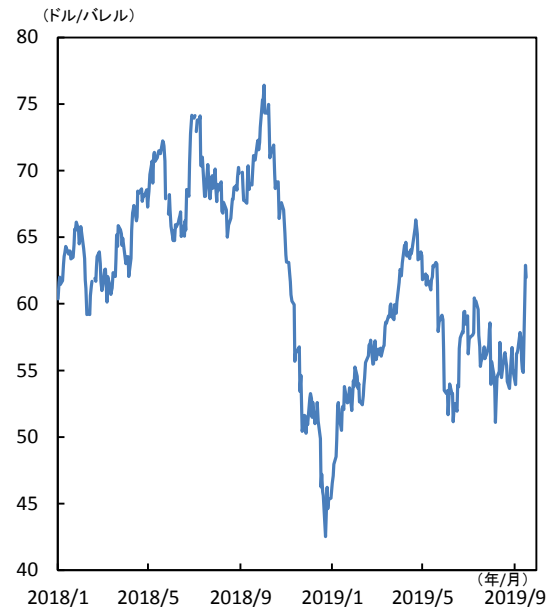
9月16日のWTI原油先物は前日比+14.6%と急騰しました(図1)。14日(土)にサウジアラビアの石油施設が無
人偵察機(ドローン)などにより攻撃され、同国の原油
生産量の半分程度(世界の石油供給量の5%超)にあたる
日量570万バレルが生産できなくなったことが背景です。

■ サウジ生産半減は巨額で原油高は不可避か

米エネルギー省(EIA)の9月10日時点の需給予想によ
ると、2019年は日量24万バレルの供給超過見通しでは
したが、今回のサウジ減産分を考慮すると、546万バレルの大
幅な需要超過となります(図2)。この需要超過分は米国
がシェール革命により増加した生産分に匹敵する巨額な
規模となり(図3)、需給不均衡の是正には、サウジの生
産回復が必要とみています。生産回復は、数週間ないし
は数ヵ月と不透明でまだ見通しが立っていません。米国
は戦略的備蓄の原油を放出する意向も示していますが、
原油高が続く可能性は高いとみています。(永峯)

【図1】16日のWTI原油先物は前日比+14.6%上昇も
原油価格の水準はまだ低い

WTI原油先物

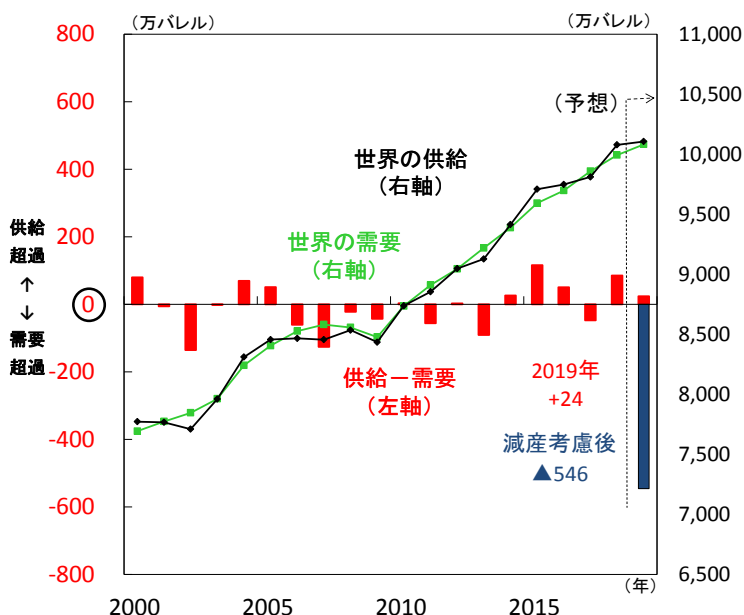


注) 直近値は2019年9月16日。

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

【図2】サウジ生産半減なら世界需給は大幅な需要超過に

世界の石油需給(日量)

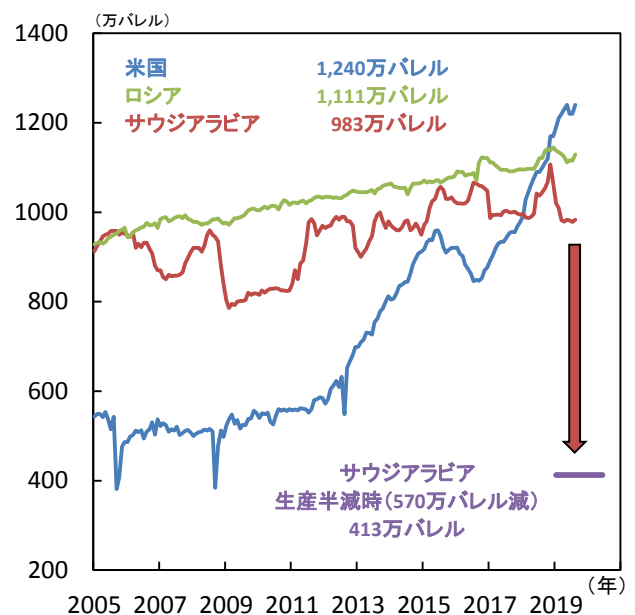


注) 予想はEIA。減産考慮後は供給量から日量570万バレル除く。

出所) EIAより当社経済調査室作成

【図3】サウジの生産減少分は
米シェール革命による米国の生産増加分に匹敵

米国、ロシア、サウジアラビアの原油生産(日量)



注) 直近値は2019年8月時点。

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJ国際投信戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJ国際投信が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会